

ワークショップ「基本方針策定に貢献しよう」

【追加・補足】

- 目指すものをはっきりと示す
 - ・市としての目指す姿をはっきりと示さないと地域は混乱する。
- 地域の課題を明確化・具体化
 - ・情報共有・情報交換・先進地視察・身近な事例紹介・・・アンケート・外部の風・若者子ども女性の参加や意見聴取等を行うことで、自分（地域）の問題に築く
 - ・地域、行政、議会等が話合う仕組みづくり
- 人材育成について
 - ・新しいリーダー像は、コーディネートできる能力が必要
- 自治会の充実強化
 - ・今の時代に応じた組織作り
 - ・地域を担う人の発掘
 - ・学校での人と人のつながりと自治会でのつながりが結びついていない
- コミュニティ組織の見直し
 - ・財源（社協分等）の見直し
 - ・多様な人材の参加（学校 PTA、若者の登用）
 - ・各団体（子ども会、婦人会等）の活動を活かす仕組み
 - ・各行事を実行委員会で運営して協力体制ができる
- 市職員について
 - ・自治会活動や地域行事に市職員が積極的に参加する
 - ・地域コミュニティが有機的に動けるよう、働きかける行政職員が必要（コーディネート能力）

【工夫】

- 市民に読んでもらえる基本方針の策定
 - ・イラストや写真
 - ・文章は短く、字は大きく
- ポイント②「地域がつながる」→「地域でつながる」
- 光市の公民館の特異性を歴史から語って、地域コミュニティやコミュニティセンターを定義したほうがわかりやすい。
- P5の図は①②③がはっきり分かれているので、誤解を生む可能性がある。第2回会議での資料に、手をつなぐ図があったので、これを活用してはどうか。